

講義名	臨床心理アセスメント			
担当教員	雲財 啓			
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 1時限		授業形態	講義
履修開始年次	2年生	単位数	2	備考
主題と概要				
関わりを持つ相手が現在どのような状態であるか、その状態の背景に想定されるものは何かを捉え、臨床像を的確に見立てることは、その相手を支援する際に必要不可欠な視点の一つである。臨床心理アセスメントとは、このような見立てを立てるための様々な方法の総称である。それぞれの方法で見立てることは、例えば普通からどれくらい外れているか、おかしいところはないかと分類や区別するためではなく、見立てる相手を助るために行うことを基盤にすべきであり、そのためには、各検査がどのような用途で作成され、どこまで用いることができるかを検査する側が理解しておく必要がある。 本講義では、臨床心理アセスメントについて、まず基礎にある考え方や実際の臨床現場で用いられている様々な方法を取り上げる。次に、様々な方法の中でも特に心理検査を中心に取り上げ、各検査の歴史的背景や実施方法を学習の上、実際に検査を体験してもらう。そして、臨床心理アセスメントにおいて重要なレポートの作成にも取り組んでもらう。				
到達目標				
①臨床心理アセスメントの基礎、代表的な検査法について理解できるようになる。 ②特定の検査法について、その検査の実施ができるようになる。 ③特定の検査法について、その結果から報告書の作成ができるようになる。				
提出課題				
講義内で取り組んだ課題の提出を求める。課題の内容等の詳細については講義内で説明を行う。				
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック				
提出された課題については、課題全体を通して特に気になった点および今後の課題において留意してほしい点について講義時に解説を行う。				
評価の基準				
講義中の提出課題（50%） 期末課題（レポート試験）（50%）				
履修にあたっての注意・助言他				
講義で取り扱う各心理検査については、特性や人格が少なからず反映されるものであることから、好奇心に任せて詮索する等は行わず、他者を尊重する姿勢が必要である。 また、他の人の邪魔になるような行為（私語、スマホ等での通話等）は認めない。				

教科書				
.使用しない。				
プリント資料及び参考文献				
教科書は使用しない。必要に応じてプリント資料を配布し、講義内で適宜参考文献を紹介する予定。				